

北海道浮魚ニュース

平成 15(2003)年度 6号 (通巻 No.148)

2003年 7月 4日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道西日本海スルメイカ調査結果 (おやしお丸 : 6/25 ~ 7/3 の調査)

スルメイカ沖合で分布密度高く, 前年より大型

スルメイカの分布密度と大きさ

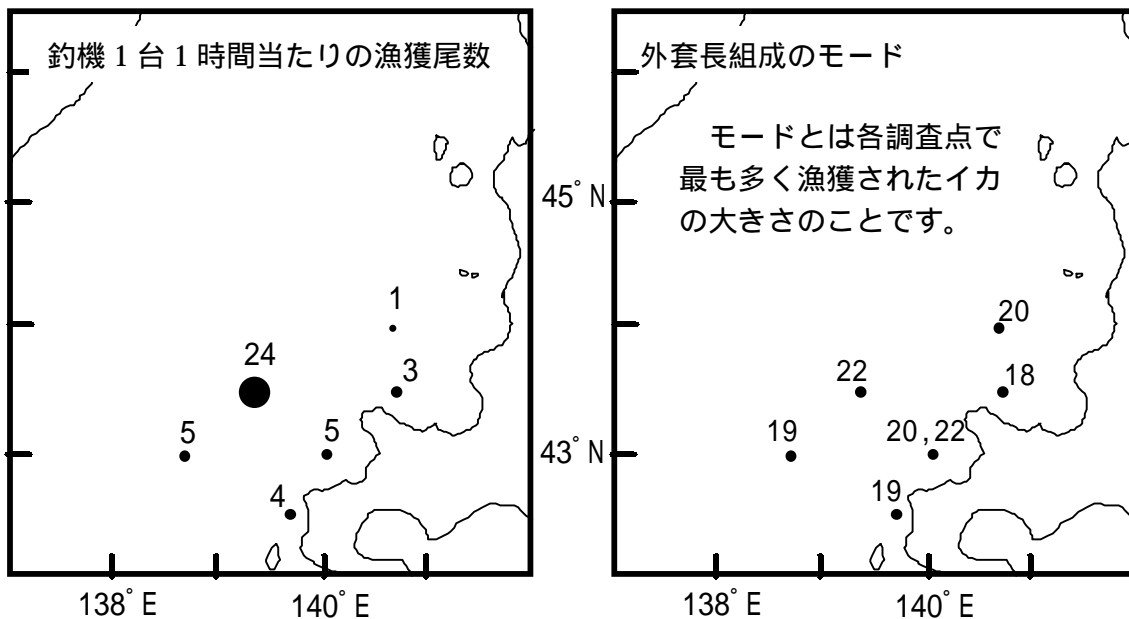


図 1 道西日本海におけるスルメイカの分布密度と大きさ

スルメイカの分布密度 (CPUE : 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 1 ~ 24 で, 積丹半島西方沖合で 24 と高く, 沿岸寄りで 1 ~ 5 と低くなっていました (図 1 左側)。

調査海域全体の分布密度を示す平均 CPUE は 7 で, 前年を下回りました (図 2)。

スルメイカの大きさは, 沖合の分布密度の高い調査点でモード 22cm と大きく, 沿岸寄りの調査点でモード 18 ~ 22cm でした (図 1 右側)。調査海域全体では 20 ~ 22cm の割合が高く, 前年 (2002 年) よりも大きいイカが多くなっていました (図 3)。

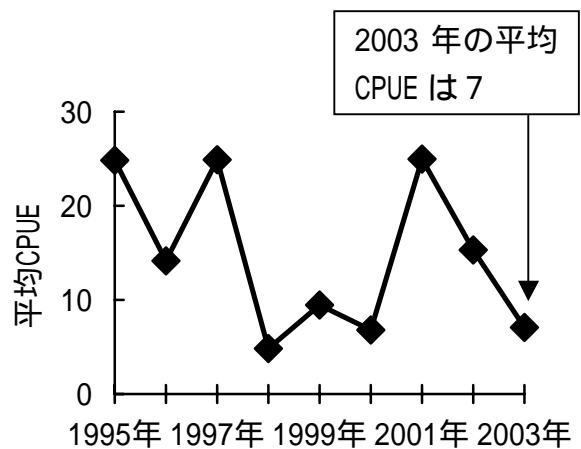


図 2 平均 CPUE の経年変化

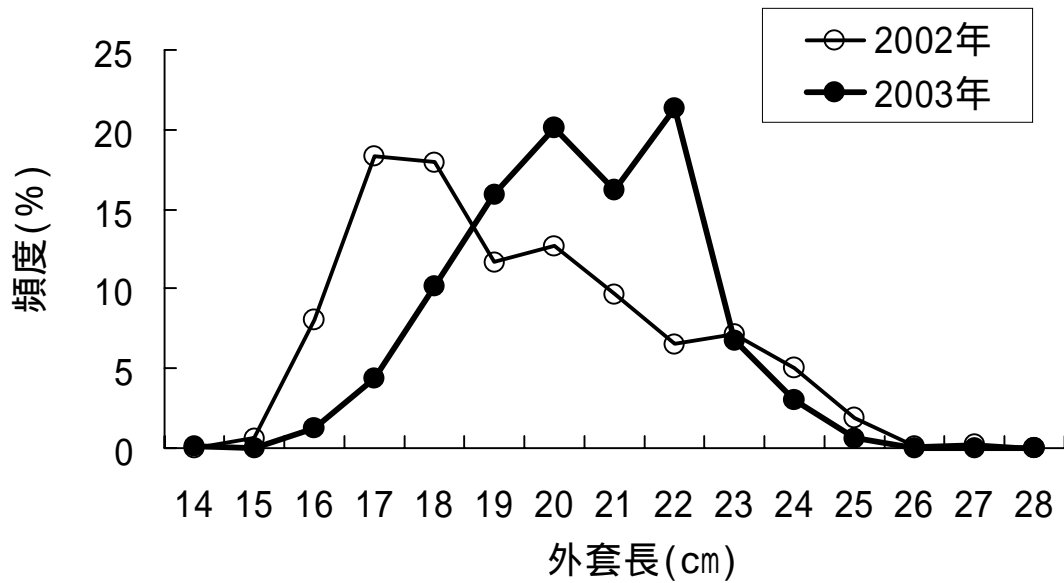


図3 調査海域全体の外套長組成

水温分布

調査海域の50m深水温は、3～9台で、留萌西方や瀬棚～岩内西方で9台と高くなっていました(図4)。

標識放流

7月1日に図4に示した調査点(43°30'N, 139°20'E)で、スルメイカの標識放流を行いました。放流尾数は1,000尾、標識札は黄色で、番号がJP-B70～B79です。

標識イカを見つけた方は最寄りの水産試験場までお知らせください。

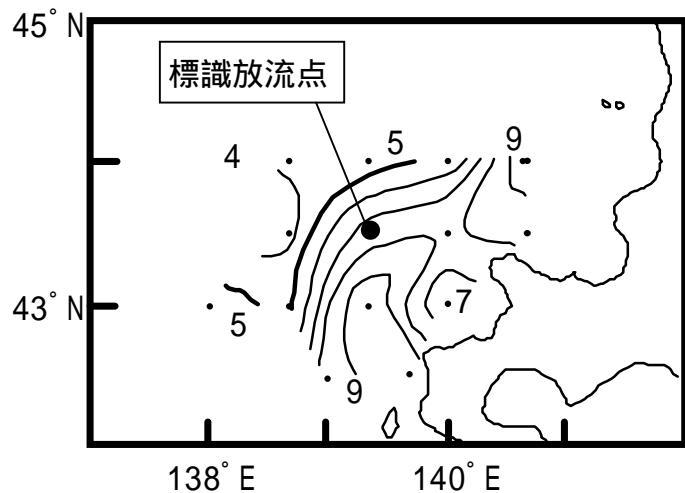


図4 6月下旬～7月上旬の50m深水温分布と標識放流点

今回の調査は「日本海スルメイカ漁場一斉調査」の一環として実施しました。全船の調査終了後、漁況予報が発表されます。

(文責：中央水産試験場資源管理部，TEL:0135-23-8707，FAX:0135-23-8709)